

【ご参考】

下記は 2023 年 7 月 14 日に NY で配信したリリースの概略部分の参考和訳です。本文と原文の内容に相違がある場合は原文が優先します。
原文リリースは[こちら](#)からご覧いただけます。

JP モルガン・チェース、2023 年第 2 四半期決算¹を発表

2023 年第 2 四半期:純利益 145 億ドル (EPS 4.75 ドル)、
特殊要因²を除き、純利益は 133 億ドル (EPS 4.37 ドル)

- 株主資本利益率(ROE) 20%、有形自己資本利益率(ROTCE)² 25%
- 普通株式等 Tier1 比率³ 標準的手法 13.8% 先進的手法 13.9% 総損失吸収力 (TLAC)³ 4,940 億ドル
- Std. RWA (リスクアセット標準的手法)³ 1.7 兆ドル、手元流動性⁴ 1.4 兆ドル、期中平均ローン残高 1.2 兆ドル

2023 年第 2 四半期(以下、当期)の業績概要

会社全体

- 当期収益は 413 億ドル、管理ベースでは 424 億ドル²
- クレジットコストは 29 億ドル(15 億ドルの貸倒引当金繰入および 14 億ドルの貸倒償却含む)
- 期中平均ローン残高は 13%増、期中平均預金残高は 6%減

CCB: コンシューマー&コミュニティ・バンキング (当期 ROE: 38%)

- 期中平均預金残高は 2%減、顧客投資資産は 42%増
- 期中平均ローン残高は前年比 19%増/前四半期比 15%増、カード貸倒損失率 2.41%
- デビットおよびクレジットカード販売取扱高⁵は 7%増
- モバイルカスタマー数⁶は 10%増

CIB: コーポレート&インベストメント・バンク (当期 ROE: 15%)

- グローバル投資銀行業務の手数料収入は 8.4%のウォレット・シェア第 2 四半期累計で、業界トップを維持。
- フィクスト・インカム・マーケットツ収益は 3%減、エクイティ・マーケットツ収益は 20%減で、マーケットツ業務収益は 10%減の 70 億ドル

CB: コマーシャル・バンキング (当期 ROE: 16%)

- インベストメント・バンキング総収入⁷は 3%減の 7.67 億ドル
- 期中平均ローン残高は前年比 23%増/前四半期比 14%増、期中平均預金残高は 8%減

AWM: アセット・ウェルスマネジメント (当期 ROE: 29%)

- 運用資産残高(AUM)は 16%増の 3.2 兆ドル
- 期中平均ローン残高は前年比 1%増/前四半期比 4%増、期中平均預金残高は 21%減

【ご参考】

特記事項

- 以下の項目は当期(2023年第2四半期)の業績に含まれる。
 - ・ First Republic⁸の買収に関して、負ののれん発生益を27億ドル計上した。(1株当たり利益(EPS)0.91ドル増)
 - ・ First Republicに関連して、12億ドルの引当金を計上した。(1株当たり利益(EPS)0.30ドル減)
 - ・ コーポレートにおいて、9億ドルの投資有価証券関連損失を計上(1株当たり利益(EPS)0.23ドル減)
- 特殊要因²を除き、2023年第2四半期の純利益は133億ドル、EPS 4.37ドル、ROTCE 23%

資本還元

- 普通株式配当 29億ドル、1株当たり1ドル
- 自社株買い純総額⁹は18億ドル
- 総還元性向^{9,10} 32%

盤石な財務基盤

- 1株当たり純資産 14%増の98.11ドル、1株当たり有形自己資本²は前年比15%増の79.90ドル
- バーゼルIII 普通株式等 Tier1 自己資本³は2,360億ドル、同比率は標準的手法³ 13.8%、先進的手法³ 13.9%
- 全社ベース SLR(補完的レバレッジ比率)は5.8%

営業レバレッジ

- 当期費用は208億ドル、オーバーヘッド比率は50%、管理ベースオーバーヘッド比率²は49%

お客様や地域社会のために

- 2023年第2四半期累計の融資および資本調達¹¹実施額は1.2兆ドル
 - 個人のお客様向け融資 1,200億ドル
 - 米国のスモール・ビジネス向け融資 170億ドル
 - 法人向け融資 5,200億ドル
 - 法人および非米国政府機関向けに実施した資本調達 5,350億ドル
 - 非営利団体および州、自治体、病院、大学を含む米国政府機関向けに実施した融資・資本調達は240億ドル

1. 記載されている増減率は、特に注記のない限り前年同期比です。

2. Non-GAAP 財務数値(管理ベースを含む)に関する注記は、英文リリース 6 頁を参照。追加注記は 7 頁を参照。。

3. 概算値。CECL資本経過措置規定を含む。2022年1月1日以降、普通株式等 Tier1(「CET1」)自己資本 29 億ドルはその後 3 年間にわたって、毎年 25%ずつ減価されます。2023年6月30日時点では、CET1自己資本と TLAC は 14 億ドル残存しています。追加情報については、2023年3月31日に終了した四半期の Form 10 Q の四半期報告書 36~41 ページ、2022年の Form 10 K の 86~96 ページのキャピタル・リスク・マネジメントの項目をご参照ください。

4. 概算値。手元流動性には、①適格流動資産(「HQLA」)の期末残高が、流動性カバレッジ比率(「LCR」)規制の下で想定される所定のヘアカット(減額)分を除き、含まれています。HQLA は、以下で構成されています。a) LCR 規制が適用される JP モルガン・チェース・アンド・カンパニーにおける HQLA、b)ノンバンク関係会社に移転できないため、JP モルガン・チェース・アンド・カンパニーの LCR からは除外されている JP モルガン・チェース銀行における余剰流動性の一部として含まれる HQLA 適格証券。また手元流動性には②市場性のある有価証券(株式や債券)の期末残高も含まれています。一方、③連邦住宅貸付銀行(「FHLB」)からの借入余力や連邦準備銀行(FRB)の貸出は含まれていません。なお、過去の決算における説明においては、適格流動資産(HQLA)に関しては、期末残高ではなく、平均残高に言及していました。流動性リスク管理の項目に関する追加情報については、2023年3月31日に終了した四半期の Form 10 Q の当社四半期報告書の 42~47 ページおよび 2022年の Form 10 K の報告書の 97~104 ページをご参照ください。

【ご参考】

5. コマーシャルカードは除外
6. 過去 90 日以内にモバイル・プラットフォームにログインしたユーザー数を指します。2023 年 6 月 30 日時点の数字は、First Republic 買収の影響を除く。
7. 同収入は CIB セグメントとレベニューシェアされている収入を含んでおり、すなわち、CB セグメント顧客に対して CIB セグメントのインベストメント・バンキング部門内、マーケッツ部門内を通して販売されるプロダクトを含みます。同収入は債券関連、株式関連の商品双方を含みます。追加情報については、2022 年の Form 10 K の報告書の 61 ページ、レベニューシェアの項目をご参照ください。
8. 2023 年 5 月 1 日、JP モルガン・チェースは、Federal Deposit Insurance Corporation(以下「FDIC」)から First Republic Bank の特定の資産を買収し、特定の負債を譲り受けたことで、その他の収益に負ののれん計上益 27 億ドルを計上した。本プレスリリースで言及されている「First Republic を除く」または「First Republic に起因するもの」とは、First Republic 買収に関連する影響を除外または含むことを指します。2023 年の第 2 四半期において、First Republic に起因する費用は、ほぼ全てコーポレートに計上しています。
9. 従業員保有株分の影響を含みます。
10. 過去 12 ヶ月 (LTM)
11. 顧客向け与信枠はローンおよびコミットメントを含む新規および継続更新された与信枠を指します。